

三井ボランティアネットワーク（関西支部）への参加

平岡 亮太(三井情報現役)

以前、中国支部へ参加させていただいており、2年前に東京へ転勤した際東京本部でも参加させていただくつもりでしたがコロナ禍の影響によりほとんど活動が行われていなかったため参加できませんでした。地元関西に戻って調べたところ、関西支部で活動されていることを知り、ボランティアへ参加させていただくことにしました。

関西で初めての参加となったのは、神戸大学の留学生の方たちとともに、2022年5月21日開催の神戸三宮で「東遊園地から旧居留地巡り」をするというものでした。

私自身、神戸近辺で生まれ育ち、阪神大震災を経験したにも関わらず、「慰霊と復興のモニュメント」の存在や、神戸の街の歴史などこれまで知らなかった新しい知識を得ることができました。



特に、六甲山が昔は木のない山であったことや、旧居留地には美観のため電線や飲み物の自販機がないこと、旧居留地エリアでは煉瓦で作られた高度な水路が整備されていたこと、慰霊と復興のモニュメントにはいまだ亡くなられた方々の名前が刻み続けられていることなどが印象に残っています。



留学生の方々は、日本でありながら少し日本離れた街並みに興味津々で「タウンガイドKOBÉ24」のボランティアガイドの方の説明に耳を傾けていました。流ちょうな英語で、かつしっかりとした歴史の知識を持っている方はそれほど多くないと思いますので、このような機会があることは留学生にとって非常にいい取り組みだと感じました。また、その時だけでなく継続してその後の留学生の日本でのフォローもされているとのこと。こういった取り組みは日本に興味を持つ留学生への力強い支えになるとと思いますので、これからも継続していけるよう自分自身もできる限り協力していきたいと思います。

—見学後の留学生の感想と意見交換の場—